

東京トレッキングクラブ

T. T. C. 会 報 2018年 10 月号

会長：阪本弘二

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

《 9 月 の 山 行 計 画 (追加) 》

No. 3, 440 八ヶ岳山麓 飯盛山 <C> L 菊地玉記

まつむし草に会いに行きませんか？

9月15日(土) 高尾発7:06=8:38 甲府8:53=9:43 小淵沢9:57=10:23 清里(又は新宿7:30 発あずさ3号=立川7:53=9:36 小淵沢9:57=10:23 清里) 清里駅10:40 歩き出し-40分平沢-1時間20分飯盛山-15分平沢山-45分しし岩登山口-1時間野辺山駅

歩程：4時間+1時間30分……5時間30分

地図：昭文社“八ヶ岳・蓼科”

費用：約5,000円(新宿記算)

申し込み：9月13日(木)までにメール又は電話でリーダーへ。

備考：雨天の場合は9月16日(日)に順延します。

《 10 月 の 山 行 計 画 》

No. 3, 441 高水三山 <C> L 菊地玉記

10月6日(土) 7:44 新宿発ホリデー快速おくたま3号=立川8:11=青梅8:44=9:02 御嶽 9:10 歩き出し-45分十字路-1時間15分惣岳山-40分岩茸石山-35分高水山-1時間30分軍畑駅
岩場が少しあります。廻き道あり。

歩程：4時間35分＋1時間30分……6時間5分

地図：昭文社“奥多摩”

費用：約1,500円（新宿記算）

申し込み：10月4日（木）までにCメールまたは電話でリーダーへ。

**No. 3, 442 蓼科山 **

L 飯田隆一

10月13日（土）バスタ新宿9：00発蓼科行バス＝13：14蓼科牧場＝（ゴンドラ）＝御泉水自然園－20分7合目－1時間20分蓼科頂上ヒュッテ（泊） 蓼科頂上ヒュッテ 1泊2食8,300円

歩程：1時間40分＋50分……2時間30分 16：20頃蓼科頂上ヒュッテに着く。

10月14日（日）7：00歩き出し（蓼科山往復1時間）－1時間天祥寺原－40分亀甲池－1時間20分北横岳－50分北八ツゴンドラ山頂駅＝山麓駅＝（バス）茅野駅

歩程：4時間50分＋1時間30分……6時間20分 13：20山頂駅に着く。

地図：2.5万図“蓼科、蓼科山” 昭文社“八ヶ岳”

費用：約20,000円（高速バス3,200、茅野－新宿6,030、宿泊8,300、その他2,000）

申し込み：バスの予約を取り10月8日（月）までに電話、FAX、メールでリーダーへ。

備考：蓼科頂上ヒュッテの水は天水です。天水を好まない方は水を余分にお持ちください。

No. 3, 443 小平霊園から黒目川へ

L 中神琳枝

秋の花咲く流れの散歩をのんびりと。

10月14日（日）西武新宿線小平駅北口10：00集合 10：10歩き出し－5分小平霊園－（園内通り抜け30分）－20分稲荷神社－25分東村山運動公園－25分氷川神社－20分下里本邑遺跡公園－40分大円寺－20分東久留米駅

歩程：3時間5分＋1時間55分……5時間 15：10東久留米駅に着く。

地図：2.5万図“立川・所沢・志木”

費用：約600円

申し込み：10月12日（金）までにリーダーへ。

No. 3, 444 行道山（石尊山）から両崖山 <C>

L 安藤 尚

9月に雷雨予報のため中止した山行の再計画です。

10月17日(水) 東武線(太田行)北千住 6:22 = 7:54 足利市。南口からあしバス行道線 東武足利市駅 8:15 = JR 足利駅 8:25 = 行道山バス停 8:45 9:00 歩き始め-20分浄因寺-40分石尊山-40分毘沙門天-70分両崖山-40分織姫公園-20分織姫神社-10分通5丁目バス停 ◇ あしバス小俣線 15:17 = 15:28 東武足利市駅。※神社から徒歩の場合は足利市駅まで1.5km

歩程 : 4時間 + 2時間 …… 6時間

地図 : 2.5万図 “足利市北部・足利市南部”

費用 : 2,170円 (北千住駅起算/あしバスは200円の前払い)

申し込み : 10月15日(月)までにメールまたは電話でリーダーへ。

備考 : 織姫神社から鑿阿寺と足利学校(有料)を経て足利市駅へは2.5~3km。葛飾北斎の『足利行道山くものかけはし』は浄因寺の境内と茶室を結ぶ橋。足利市駅の東武は15:32(館林行)、15:39(特急)、15:49(館林行)など。館林駅からの乗り継ぎは円滑。

No. 3, 445 ネズミサス尾根~六ツ石山~ハンノ木尾根

L 五十嵐知也

10月18日(木) 立川発6:50=8:03 奥多摩8:10(バス)=8:34 東日原歩き出し-35分739m点-1時間15分カラ沢尾根合流-35分カラ沢ノ頭-30分六ツ石山-35分トオノクボ-1時間30分境橋バス停=奥多摩駅

歩程 : 5時間+1時間30分……6時間30分

地図 : 2.5万図 “武蔵日原、奥多摩湖”

費用 : 約3,000円

申し込み : 前日までにCメールでリーダーへ。

備考 : ネズミサス尾根は急登だが岩場はない。ハンノ木尾根末端の廃屋6戸はどうなったか、4~5年前には1軒だけおじいちゃんと犬が住んでいたが、今はどうか。

No. 3, 446 菰釣山

L 飯田隆一

10月20日(土) 高尾7:11=7:48 大月7:52=8:37 富士山=(タクシー40分)山伏峠 9:15 歩き出し-30分大柵ノ頭-30分石保土山-1時間45分菰釣山-15分菰釣避難小屋-30分ブナ沢ゲート-40分落合橋-30分道の駅道志=タクシー藤野駅

歩程 : 4時間40分+1時間30分……6時間10分 (15:30頃 “道の駅道志”)

に着く)

地図：2.5万図“御正体山、中川” 昭文社“丹沢”

費用：約5,000円(新宿-富士山2340、新宿-藤野970、タクシー2000)

申し込み：10月17日(水)までに電話、FAX、携帯メールでリーダーへ。

備考：

No. 3, 447 天平尾根から三条の湯・雲取山へ L 瀬川仁子

紅葉の天平尾根を歩き三条の湯へ。2日目は雲取山経由で鴨沢に下ります。

10月27日(土) 6:46 新宿ホリデー快速奥多摩行き=8:21 奥多摩西東京バス丹波行き8:35=9:14 親川-2時間20分丹波^{たば でんていろう}天平-40分サオラ峠-2時間三条の湯(泊) 1泊2食付9,000円 TEL 0428-88-0616

歩程：5時間+2時間……7時間

10月28日(日) 7:00 歩き出し-3時間雲取山-1時間15分七ツ石山-2時間20分鴨沢バス停

歩程：6時間35分+2時間15分……8時間50分 15:50頃鴨沢バス停に着く。16:01奥多摩行きのバスに乗る予定。

地図：昭文社“奥多摩”

費用：新宿起点で約13,000円

申し込み：10月25日(木)までにCメールでリーダーへ。

備考：天候により順延します。

No. 3, 448 地藏堂から金時山 <C> L 安藤 尚

10月31日(水) 小田急新宿 7:02 = 8:32 新松田 ◇ 北口①番バス停から箱根登山バス 新松田駅 8:45 = 9:22 地藏堂 9:30 歩き始め-15分夕日ノ滝入口-25分東屋-20分数回沢を横切り-40分樹林帯を経て猪鼻砦跡-10分山頂への階段と手すりのある金属梯子の起点-30分金時山山頂-30分公時神社方面分岐を経て矢倉沢峠-30分国道出合いを経て仙石バス停 箱根登山バス仙石 14:57 = 15:55 小田原駅 ※ 仙石発は他に 15:02 12:27

歩程：3時間20分 + 2時間……5時間20分

地図：2.5万図“関本、御殿場”

費用：3,306円(新宿起算)

申し込み：10月29日までにメールまたは電話でリーダーへ。

《 7月の山行報告 》

No. 3, 421 蔵の街遊歩コース

パーティ：女性5名

7月1日(日)晴。駅前通りを北進し巴波川に出る。川に遊ぶ鯉を見ながら歩いていくと塚田歴史伝説館に着く。120mも続く黒堀に沿って歩くとその中に蔵が8個有り一部が記念館にもなっている。見どころは三味線を弾きながら話をするおばあさんロボット。人形ロボットが繰り広げる「うずま川悲話」の蔵芝居に思わず見入ってしまう。川沿いに出て質商を営んでいた坂倉家の土蔵が郷土参考館として公開しており民俗資料・市内から出土した土器など展示している。蔵の街大通りを歩き、あだち好古館へ。呉服問屋の蔵を使った博物館で、浮世絵や彫刻・なかでも安藤広重の「東海道五十三次」全55枚が素晴らしい。ここで隣接する山車会館へ。2年に一度の祭は市内を絢爛豪華な山車が練り歩き、館内では実際に使われる山車が展示され、祭の臨場感を体験できる大スクリーンに山車のすばらしさを満喫する。外に出て常盤橋を渡った左に横山郷土館がある。麻問屋・銀行を営んでいた明治の豪商で館内では帳場や金庫室などが公開され、書画・骨董品などを展示する。大通りに出て昼食。北に向かい宿場町の面影を残す例幣使街道を行き、岡田家へ。そこは550年以上の歴史を持つ旧家で別邸翁島はケヤキの一枚板を使った見事な廊下や樹齢3千年の屋久杉の天井が見どころ。道に戻り岡田記念館へ。歴代当主が収集した武具甲冑・美術品などが展示されている。3棟の蔵があり見学する。例幣使街道を進み新栃木駅に向かう。

栃木駅歩き出し9:55-昼食13:10~50-新栃木駅15:45 (中神 記)

No. 3, 422 障子ヶ岳 < B >

パーティ：女性3名/男性3名 計6名

6月30日(土)晴。山形は37.8℃の猛暑日とかで暑い。山形から西川IC、月山口と乗り継ぎ大井沢温泉の江戸屋に入る。Lはドジをしてしまい電車に乗り遅れ、遅れて到着。宿の料理が山菜ずくめですごい。出てくるは出てくるはその数16品以上。大満足の宿でした。登山道には雪が無いとの事でアイゼン等は宿に置いていく事にした。夜は涼しい風が入ってきて良く眠れた。

7月1日(日)晴。メンバーの年齢を見てか宿の夫婦が登山口まで送ってくれた。ハルゼミしぐれの中を歩き出す。少し歩くと小沢を越すがかなり水量があり石づたいに少し靴を濡らして通過。急登が始まった。汗が止めどなく出るので何回も休憩して水を飲んだ。1000mを越えるとシャクナゲが現れ1150mからお目

当でのヒメサユリが出てきた。やっと紫ナデに着いて昼食とした。障子ヶ岳はまだ遠い。大朝日岳が美しい姿を見せてくれた。障子ヶ岳に着くと大朝日岳から以東岳まで見えるが狐穴まではいかにも長い。障子池の雪渓で休憩。粟畑から曲り天狗小屋に着いた。小屋は非常に綺麗で宿泊は我々だけ。昨夜は16人の宿泊で大宴会だったとか。早速ビールを冷やし乾杯。早寝。

林道終点歩き出し7:15—紫ナデ11:40~12:10—障子ヶ岳14:45~15:00—粟畑15:35—天狗小屋16:20

7月2日(月)晴。今日も良い天気です。小屋から見る日の出を堪能。下りに入り山の景色に別れを告げた。荷が軽くなったのに依然として辛い。タムシバが一面に咲いていた。まだ雪が消えたばかりなのであろう。竜ヶ池水場は水芭蕉の花盛り。冷たい水で喉をうるおす。この辺から3回ほど小沢を渡るがどこも水芭蕉が良く咲いていた。途中で宿に電話をし、やっと林道に出た。林道歩き40分位で車が迎えに来てくれた。嬉しい。温泉に入り冷麦を食べ、タクシーで寒河江駅に出て帰宅の途に着いた。好天にも恵まれ宿にも恵まれ、体力的には辛くも至福の山旅であった。

天狗小屋5:40—天狗角力取山5:55—水場7:55—焼峰8:45—林道10:30—迎えの車に乗る11:05 (飯田 記)

No. 3, 423 三頭山 <C>

パーティ:女性8名/男性2名 計10名

7月10日(火)曇時々晴後雨。毎日はっきりしない日が続き夕方は雨と言う予報の中、今日初参加の井出さんも御一緒に自己紹介をした後に歩き出した。森林館の下をトンネルで抜けて道なりに進み、橋を渡り山道をたどって鞆口峠へ。鞆口峠の展望デッキで休憩を取った。今日は湿度が高くいつもの風もない。途中登山道とブナの路と表示された分岐があり今回はブナ林の緑陰を登る事にした。ひたすら登るのみである。余り急登ではないが時折標高の書かれている立て札を見ながら汗をびしょりかいた。標高が高くなるにつれ風も吹いたが兎に角湿度が高かった。見晴らし小屋から下って東峰に登り返すあたりがブナ林の美しいところ、ぐんぐん登ってブナの路の標高1,500m表示板から右へ階段の道を登って行くと東峰展望台に着く。中央峰のテーブルで和気あいあいと昼食を楽しみました。花が少なく穂つつじのピンクの花がわずかに残っておりました。西峰山頂1,524.5mには日本三百名山の立派な標識が立っていましたが、展望は余りすっきりしませんでした。下山は笹尾根をたどりムシカリ峠のベンチで一休み。ハプニングで五十嵐さんに楽譜を渡されて「青葉城恋歌」「知床旅情」二曲を合唱してきました。沢添いの道を三頭大滝へ行くと水量もあり、なかなか立派でした。そこから

はウッドチップを敷き詰めた道をふかふか歩いてもう少しと言う所で雨がポツポツ・・・本降りになり一寸残念でした。

歩き出し 9 : 35－鞆口峠 9 : 50～10 : 00－見晴らし 10 : 50～11 : 00－東峰 11 : 25－中央峰 11 : 30～12 : 00－西峰 12 : 05～15－ムシカリ峠 12 : 25～35－三頭大滝 13 : 25～35－都民の森入口 14 : 00 (菊地 記)

No. 3, 424 正丸峠～伊豆ヶ岳 <C>

パーティ：女性1名／男性1名 計2名

7月15日(日)晴。Lの都合で日程を1週間ずらしたが、先週このプランを6人で実行していたことや、35℃以上の猛暑のためか参加者は3名となった。しかし1名は遅れてくるので不参加にしてくれというので2名の山行となった。

熱中症に気をつけて、休憩と水分を多めにとりながら歩いた。昔にぎわった旧正丸峠も今は淋しい。急で長いアップダウンをくり返して、新正丸峠に着く。小高山のベンチで長い休憩の後、伊豆ヶ岳にとりついた。今日は2人なので、久しぶりに男坂を登った。3ピッチ程の鎖場を長く感じたのは暑さのせい、年のせい。遅れた人から連絡があり、既に伊豆ヶ岳から下山途中とのことで、旧正丸峠経由をせず我々よりも先行したらしい。我々も暑いので早く下りてビールにしようとして少し急いで歩き、正丸駅でビールを買い15 : 26の電車で帰途についた。

正丸駅 9 : 40－旧正丸峠 11 : 00－正丸峠 12 : 00－小高山 12 : 30～50－伊豆ヶ岳 14 : 00－正丸駅 15 : 15 (五十嵐 記)

No. 3, 425 行道山から両崖山 <C>

雷雨予報のため秋に延期しました。

No. 3, 426 北海道大雪の高山植物観賞の山旅

パーティ：女性9名／男性3名 計12名

7月17日(火)晴。旭川駅から宿の送迎バスで層雲峡へ。宿に入り明日からの山行に備える。

7月18日(水)晴。朝食後タクシーで銀泉台へ。登山届提出後重いザックに不安を感じながら出発する。たくさんのお花々に出迎えられる。雪渓があるが、アイゼンは不用でした。今年は雪渓が多いそうです。駒草平は一面満開のコマクサです。エゾコザクラ、チングルマ、いろいろな花々に元気付けられ赤岳山頂に到着です。青空の下、北海道ならではの絶景を堪能しました。白雲岳・緑岳の分岐点ではウルップ草の群落に出会いました。アオノツガザクラ等の花々を見ながら小

泉岳へ。強風の中白雲避難小屋に向かう。途中チョウノスケソウも咲いていました。小屋は超満員です。寝場所を確保して、みんなで夕食です。食後は早々に就寝。夜中に目を覚ますと、満点の星空でした。

銀泉台 9:00-10:53 駒草平 11:05-12:15 奥ノ平 (昼食) 12:45-14:45
小泉岳-16:05 白雲避難小屋 (泊)

7月19日(木) 晴。午前中サブザックで高根ヶ原から平ヶ岳方面へ散策。本日も晴天なり。期待通りたくさんのお花々に出合いました。小屋にもどり緑岳に向けて出発する。緑岳山頂で昼食。岩ゴロゴロの急坂を下りお花畑に向う。第1、第2花畑共、まだ雪渓でした。気を取り直して秘湯を目指す。長い長い下りの急坂、ヒグマ注意の看板を目にしながらか、ひたすら下る。下った先は大雪山高原山荘です。白濁の湯、すばらしい温泉でした。さすが秘湯です。

小屋歩き出し 6:10-7:35 三笠分岐-8:00 平ヶ岳手前のお花畑と好展望の所で時間切れにより引き返す-9:45 白雲避難小屋着。身支度後 10:15 小屋-11:10 緑岳 (昼食) 11:40-14:30 第一花畑 (1,510m)-15:30 大雪山高原山荘 (泊)

7月20日(金) 晴。宿の車で層雲峡へ。ロープウェイ、リフトを乗り継いで黒岳7合目へ。山頂まで1時間半、ボタンキンバイ、ウコンウツギ、たくさんのお花々が咲き乱れています。山頂は北海道独特の雄大な景色です。晴れ女(男?)は誰だったの? 山頂付近を散策しさすがに連日の疲れが出てきたので早々に宿にむかう。

7合目登山口歩き出し 9:15-11:12 黒岳 (1,980m) 昼食 11:45-石室 (黒岳小屋) の見える所までお花畑を散策 (桂月岳は割愛) -12:30 黒岳 12:45-14:00 リフト乗場

7月21日(土) 朝食後解散。リーダーご苦労様でした。すばらしい山行でした。リーダー、皆さまに感謝です。 (南出 記)

今回は高山植物観光の山旅なのでのんびりと花を見ながら歩いたので重いザックにも拘わらず皆さん元気に完登されリーダーとしては嬉しく思います。三日間好天に恵まれ展望も花も最高でした。今年は残雪が多く雪渓歩きが何回も有りましたがアイゼンは不要でした。避難小屋の初経験者も居て良い体験をしたのではないのでしょうか? 皆さんお疲れ様でした。 (佐藤(ツ) 記)

No. 3, 427 倉岳山北東尾根 < B >

生命に危険を及ぼす暑さとの予報により中止しました。

No. 3, 428 立山・浄土山 (ベーステント山行) < B >

迷走台風が襲来する予報の為中止しました。

《 お 知 ら せ 》

☆ 11月の山行予告

南高尾山稜（草戸山～大垂水峠） < B > L 安藤 尚

唐沢山から諏訪岳 < B > L 飯田隆一

☆ No. 3, 436 早川尾根から夜叉神峠 < A >の山行はリーダーの都合で中止します。

☆ 10月の役員会は10月3日（水）練馬区役所1905室17：00～19：00です。

☆ 11月の山行計画及び山行報告を8月31日（金）までに飯田まで提出して下さい。